

10
倍にする
カード

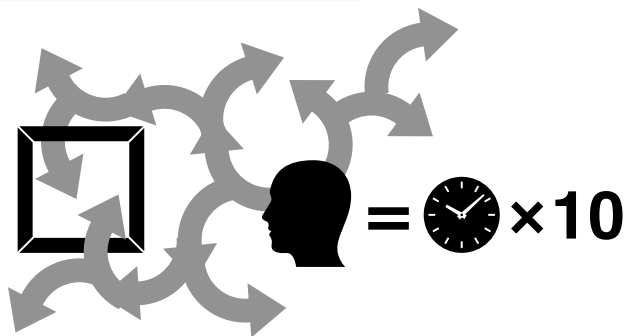


あなたの鑑賞時間を

鑑賞時間を10倍にする

美術館で1つの作品に費やす時間は、平均わずか数十秒～1分未満と言われています。「LOSPA/ロスパ」はその時間を“10倍”に引き伸ばし、あえて遠回りする事で作品をじっくり楽しむための道しるべです。理解や正解を求める気持ちを一旦脇に置き、寄り道しながら作品と向き合うことで、これまで見えなかった発見や気づきに出会うことができます。

タイパではなく、ロスパ



「LOSPA/ロスパ」とは Lost Time Performance（余白の時間）の略。効率を追い求める「タイパ＝Time Performance」とは逆に、時間を贅沢に費やし、はっきりとした目的を定めずにゆったり過ごすことを大切にする価値観です。

「ロスパカード」を手に入れば、あなたの鑑賞はたくさんの寄り道に迷い込みます。視点や思考はあちこちにさまよい、想像は思いがけない方向へ広がっていきます。最短距離でゴールを目指すのではなく、むしろ遠回りを楽しみながら——作品と無関係に見える話題も交えつつ、寄り道そのものを味わってください。

ロスパカード



【クロスパカード：ソロプレイ用】全18種

鑑賞する視点を変える指示が書かれた黒いカード。いつもと異なる見方を意識することで、「よりみち」に誘う。

【シロスパカード：複数人用】全99種

記憶や経験に関するテーマが描かれた白いカード。鑑賞作品と関連づけて想像を拡げることで、自然に「よりみち」が起こる。連想はこじつけでOK。

その他必要な物



鑑賞する作品
(好きなもの)



時計
タイマー



鉛筆



メモ

ロスパの掟

◆間違ふこと、よくわからないことを楽しむべし。

◆互いの違いを優劣で測ることなかれ。

◆関係のないことほど真剣になるべし。

1人で遊ぶ

「クロスパカード」を使用します。

(対象年齢13+)



1：鑑賞する作品を好きに選ぶ。

2：「クロスパカード」を1枚選び、絵柄を見る。

視点を変化させるきっかけが書かれています。

カードの内容を実行して思いついた事を、

何でも「メモ」に書き出す。

作品を見はじめた時間も記録する。

*解釈は自由。作品や鑑賞に関係のないことも大歓迎。

とにかく思いついた事を書き出す事が重要。

3：好きなだけ2を繰り返し行い、鑑賞を終える。

4：見終わった時間でロスパ度を確認する。

みんなで遊ぶ

「シロスパカード」を使用します。
(対象年齢13+)



- 1：鑑賞する作品を全員で1つ選ぶ。
- 2：「シロスパカード」を1枚選び、絵柄を見る。
カードには様々なテーマが書かれています。
作品と「シロスパカード」から思いついた事を、各自何でも「メモ」に書き出す。
作品を見はじめた時間も記録する。
*4人以上で行う場合は、各自が1枚ずつカードを引き、自分の引いたカードについて書き出す。
*解釈は自由。作品や鑑賞に関係のないことも大歓迎。
記憶や経験を辿り、とにかく思いついた事を書き出す事が重要。
- 3：全員が書き終わったら、メモの内容を共有する。
*関係のない話にどんどん逸れることを歓迎します。
- 4：好きなだけ2～3を行い、鑑賞を終える。
- 5：見終わった時間でロスパ度を確認する。

大人と子供で遊ぶ

「シロスパカード」を使用します。
(対象年齢4+：複数人可)



- 1：鑑賞する作品を全員で1つ選ぶ。
- 2：子供は「シロスパカード」を1人1枚選び、絵柄を見る。
子供は作品と「シロスパカード」の絵柄から思いついた事を何でも大人にどんどん話す。
(複数人の場合は順番に行う)
作品を見はじめた時間を記録する。
*関係のないことも大歓迎。とにかく話すのが大事。
*カード内容がわかりにくければ、大人が意訳する。
*大人は自分の意見は言えません。相槌やリアクションを積極的に行い、話をどんどん引き出します。
*発話を急かしてはいけません。言葉を待つ時間を楽しんでください。
*発話の否定や修正をしないでください。
*それぞれの解釈に矛盾が生じることもありますが、正解が無数にあることを楽しむようにしてください。
- 3：好きなだけ2を行い、鑑賞を終える。
- 4：見終わった時間でロスパ度を確認する。

ロスパ度

豊かな時間を過ごすほど、ロスパ度が上がります。
どこまで長く過ごせるか挑戦だ！

ロスパ度→	スゴい！	ヤバい！	エグい！
1人で/大人と子供で	5分以上	10分以上	15分以上
みんなで	10分以上	15分以上	20分以上

話のキーワード

話し合いでは、以下の言葉が「ロスパ」をより高めるキーワードになります。

「なるほど」「確かに」

お互い相槌を意識すると、話しやすくなります。

「なぜそう思ったんですか？」

「作品のどこからそう思ったんですか？」

理由や具体的な箇所を聞くと、話が広がります。

「うまく言葉にできないけど・・・」

「よくわからないけど・・・」

結論や意味がはっきりしていない言葉がとても大切です。まとまらなくても、整理できなくても、とりあえずそのまま言葉にしてみます。

「全然関係ないんだけど・・・」

関係のない話こそ、「よりみち」の本質です。積極的に言葉にしてください。

「今思いついたんだけど・・・」

「〇〇さんの話を聞いて思ったんだけど・・・」

他人の話を聞くことで、または作品を見直すことで、見え方や感じ方が変わることがあります。その気づきは、変化の連鎖を起こるきっかけとなるので、その都度共有してください。

カスタマイズ

「LOSPA/ロスパ」では、遊ぶ中で何を価値とすれば良いのかもプレイヤーに任されています。白黒両方のカードを混ぜて使ったり、複数の作品を同時に鑑賞したり、より楽しめる方法で遊びながら、鑑賞の可能性を広げてみてください。